

挑む私学



瀧野川女子学園中学高等学校

女性が望む人生を手に入れられる学校を創りたいとの想いを胸に、1926年に創立された瀧野川女子学園中学高等学校(東京・北区)。開校以来、女子校を買ってきた同校は、2010年より実学に基づいた教育を軸に置くようになった。なかでも特徴的なのが2016年から開始した「創造性教育」だ。この学びがどのような成果を挙げているのか、理事副校長の山口龍介氏に話を聞いた。

これにより、生徒たちは頭で考えたことを具現化する難しさを体感する。時には、かなり作り込んだ段階でやり直しを決断するチームもあるといい、子供たちの真剣ぶりがうかがえる。ジオラマ創りを始めてからは、「行動が伴うようになった」「我慢強くなった」「積極的に変わった」など、家庭でも子供の変化はみられるようだ。

本格的な事業を通して様々な気づきを得る

高1の時は、創造性教育の一環として、「商品企画コンペティション」に取り組む。自分の「欲しい」と世の中の「欲しい」を結びつけ、これまでなかったような斬新な商品企画をする。

まずはグループでワークショップをおこない、自分と社会の「欲しい」を吟味。次に学園祭への出店計画を立て、最後はチームで商品作りに挑み、コンペをおこなう。

そして高2の時、今まで学んできたこと



創造性教育のスタートとなる中1時の「理想の街を創ろう」の一幕

クリエイティブティイのいろはを学ぶ中学時代

何と言っても、瀧野川女子中高の教育で特徴的なのが「創造性教育」だ。同校が独自に開発したこの学びは、中高6年間を通しておこなう。目的は、創造性と起業家精神の養成だ。

まず中1の時は「理想の街を創ろう」をテーマに、

デザイン思考を学び、ブレインストーミング、フィールドワーク、ユーザーインタビューをチームごとに実施。最終的には理想の街をカタチにすべく、ジオラマを創る。

「アイデアを生み出したリ、空想して終わるのではなく、実際に手を動かしてジオラマを創るのが大きなポイントです」と山口氏。

デザイン思考を学び、ブレインストーミング、フィールドワーク、ユーザーインタビューをチームごとに実施。最終的には理想の街をカタチにすべく、ジオラマを創る。

とが、会社と資本の成長につながる」といったことを学ぶ。

をする。模擬会社を立ち上げた。経営、マーケティング、制作、財務など役割を分担し、学園祭でオリジナル商品を販売すべく製品化やマーケティングを進めていく。

製品のデザインや色、原価、販売価格、広告の予算や手法など、本物の事業のように決めることは多い。



副校長の山口龍介氏

意見の衝突は日常茶飯事だが、それによってコミュニケーションの大切さはもちろん、「チームが一丸となって新しい価値を創造する面白さ」といったことや、「自分の強みを最大限活かすこ

「普段は控えめな製造担当の子が、全校発表会で技術について堂々と発表するなど、この実習を通して生徒たちは大きく成長していきます」と山口氏。

合格実績4倍！創造性教育の成果が実る

創造性教育の仕上げとなる高3の時は、大学以降のキャリアを描いていく。もちろん大切になってくるのが受験だが、例えば総合型選抜や公募推薦を狙う生徒は、創造性教育の成果を活かして明確なキャリアプランとビジョンを立てているため、やりたいことや自分の強みが明確で、志望理由書や、今や合否を最も左右する口頭試問中心の面接試験にも非常に強い。

「先生たちとの距離が近いので何でも相談できますし、いろいろなバックアップしてもらえて安心です」と話す生徒は多く、そうした親身な指導によって、面接では自分をありのままに表現。その結果、たくさんの

生徒が志望大学への切符を手に入れている。驚くことに、創造性教育を開始してから初の中高一貫の卒業生が誕生した昨年3月の大学合格実績は、前年比の約4倍となった。

創造性教育の旗振り役である山口氏は「東工大でロボット研究をしていた私は、世界のトップ大学の動きを見て、実学主義の大切さや、教育の在り方を見直す必要性をひしひしと感じていました。この学校でそれを実現でき、結果に結びついていることを大変嬉しく思います」と笑みをこぼす。

最後に塾関係者へメッセージをくれた。「一人ひとりにフォーカスが当たる時代となりまし



高校に入ると商品企画から販売に至るまで体験し、起業家精神を育てていく

た。大変ではありますが、子供にとっていい時代だといえますし、我々教える側にとってもやりがいのある時代です。特にビジネスと向き合っている塾の皆様は、

普通の学校の先生とは違う視点を持ってらっしゃるので、子供たちの成長の大きな助けになると思います。

生徒一人ひとりの個性を引き出し、伸ばしてあげるよう、お互い連携して頑張りたいです！」

リアルなビジネスさながらの創造性教育で自分を発見